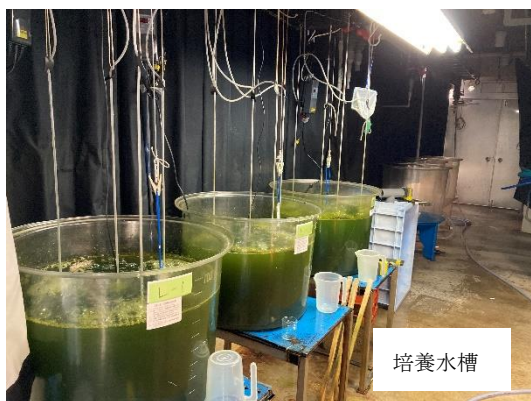


令和3年1月12日、ヒラメ種苗生産開始

1月12日、ヒラメ受精卵が実習場へやってきました。いよいよ生物系列の資源増殖実習の集大成、ヒラメ種苗生産、生徒による飼育日直が始まります。この日に向けて、これまで塩分、溶存酸素、そしてヒラメの餌となるシオミズツボワムシ(大きさ：130~340 μ m)やアルテミアについて学んできました。

卵は翌日に孵化し、授業ではヒラメ観察、スケッチ、生徒による飼育日直が始まりました。放流まで約90日間、授業や飼育実習を通して、ヒラメの成長を追っていきます。



培養水槽



シオミズツボワムシ



ヒラメ飼育水槽

写真1. 12月中旬、ヒラメの最初の餌となるシオミズツボワムシの培養スタート

写真2. 12月末からヒラメ水槽の準備も開始します



受精卵到着

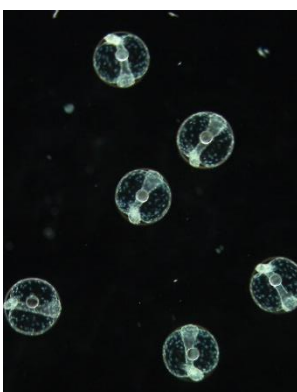


写真3. 1月12日、ヒラメの受精卵が実習場に到着。卵の状態も良さそうです。

写真4. 飼育室にて先生より水槽環境などの説明を受けます。

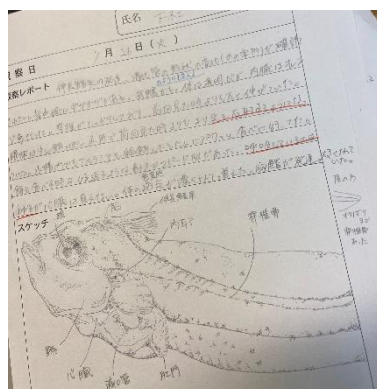


写真5. 週1の授業では、ヒラメの観察レポート、スケッチ、考察を書きます。



写真6. 隣のスケッチのモデルの孵化13日目目のヒラメ